

## マダニに注意!

春から秋の時期に山林や藪などに行かれる方は、マダニ咬傷に注意が必要です。マダニ咬傷後に発症する可能性がある、**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)**について紹介します。

### 1. マダニ媒介 SFTS とは

SFTS は 2011 年に中国の研究者らによって発表されたブニヤウイルス科レボウイルス属に分類される新しいウイルスによるダニ媒介性感染症である。2013 年 1 月に国内で海外渡航歴のない方が SFTS に罹患していたことが初めて報告され、それ以降他にも SFTS 患者が確認されるようになった。これまでのところ、富山県内での発生はまだ確認されていないが、隣の石川県では SFTS による死亡例が発生しており、今後県内でも発生する可能性がある。

### 2. 感染経路

感染経路は**マダニ**(フタゲチマダニなど)を介したものが中心だが、血液等の患者体液との接触により人から人への感染も報告されている。

フタゲチマダニ



### 3. 症状

SFTS ウイルス(SFTSV)に感染すると、**6日~2週間の潜伏期**を経て、**発熱、消化器症状(食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛)**が多くの特例で認められ、その他頭痛、筋肉痛、意識障害や失語などの**神経症状、リンパ節腫脹、皮下出血や下血などの出血症状**などを起こす。

忌避剤の効果

### 4. 検査

検査所見上は**白血球減少、血小板減少、AST・ALT LDHの血清逸脱酵素の上昇**が多くの特例で認められ、血清フェリチンの上昇や骨髄での血球貪食像も認められることがある。

マダニに対する忌避剤(虫よけ剤)が、2013年から新たに認可されました。現在は、ディート、イカリジンの2種類の有効成分の忌避剤が市販されています。



忌避剤の使用でマダニの付着数は減少しますが、マダニの付着を完全に防ぐわけではありません。忌避剤を過信せず、様々な防衛手段と組み合わせることで対策を取ってください。

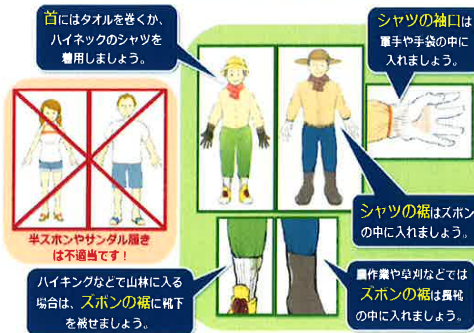
### 5. 治療・予後

治療は**対症的な方法**しかなく、有効な薬剤やワクチンはない。致死率は**6.3~30%**と報告されている。

### 6. 予防 :イラスト参照

#### マダニから身を守る服装

野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう!



#### マダニから身を守る方法



(国立感染症研究所ホームページより引用)

(記:総合診療科 薄田大輔)

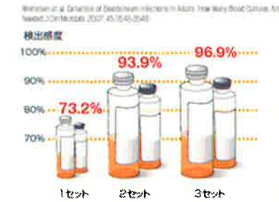
## 血液培養採取時の掟

### その1: 抗菌薬投与前に血液培養

発熱がみられ、感染症を疑い抗菌薬の治療を始める場合、後から抗菌薬を適正化(可能な場合は de-escalation)するために**抗菌薬を投与前**に細菌学的検査のための検体をとってください。

### その2: 採血のタイミングは発熱の直後

よく「38℃以上発熱時血液培養」と指示がでますが、発熱のピーク時には細菌が血液中から除去されることがあるので、発熱の前(悪寒、戦慄時など)に採血の方が細菌の検出率は高くなります。しかし発熱の前にはその後熱が出るかどうかかわからないため、**発熱直後が血液培養の最も良いタイミング**です。



### その3: 血液培養は2セット

起炎菌の検出率が1セットより**2セットの方が20%向上**します。

コンタミネーションと起炎菌の判別が容易になります。

### その4: 培養は嫌気ボトルから注入

注射器内の空気を嫌気ボトルに注入するのを防ぐためです。

注射器をたてて空気だまりを上部に移動させ嫌気ボトルに穿刺し注入します。

### その5: 採取後は速やかに検査室に

採血後検査開始が早ければ早いほど検出率は上がります。**2時間以内**が良いとされています。

24時間を過ぎると急激に検出率は落ちます。

(記:臨床検査部 小路聡美)

## リハビリテーション部での感染対策の取り組み

リハビリテーション室へ入退室される方に対し、手指消毒を行っていただいていることをご存じでしょうか?リハビリテーション部では、数年前よりリハビリテーション室に入室する方、退出する方に対して、アルコールでの手指消毒を推奨して行ってきました。



環境清掃として、昼と夕方にベッドや机・椅子などの消毒も行っていますが、リハビリテーション室では使う環境が広く、また使用する物品を共有することもあり、少しでも感染予防を行う



ために、対策として手指のアルコール消毒を行っています。また MRSA などの感染者がリハビリテーション室を利用する場合には、使用する場所をなるべく特定し、使用する枕もアルコール消毒できる専用の物を使う等の工夫を行い、その都度、清掃・消毒を行っています。みなさんもリハビリテーション室に入退室される際には、アルコールでの手指消毒の推進にご協力をお願いいたします。

(記:リハビリテーション部 山川雄亮)

入り口で手指消毒を自主的に実施していらっしゃいます。